

教育だより

中学生社会体験チャレンジ事業

「働くこと」の意義や重要性を学ぶ職場体験学習

三芳町内の中学校3校では「中学生社会体験チャレンジ事業」として、毎年2～3日間の職場体験学習を行っています。進路指導・キャリア教育の一環として、実際に様々な職場における実践を通して、生徒たちは働くことの厳しさや大変さ、喜びや楽しみを体感しているようです。

職場体験学習では、三芳町の未来を担う子どもたちのために、地域の数多くの事業所にお世話になっています。日常の仕事でお忙しいにもかかわらず、温かいご支援・ご協力により、中学生は貴重な体験をさせていただき、生徒たちにとって、働くことの意義や重要性を学ぶ機会となるとともに、夢や目標をもって自分の将来を真剣に考える機会になっています。改めまして、各事業所の皆様に感謝申し上げます。

それでは各学校の今年の取組を紹介します。
問い合わせ 学校教育課 (内線521・522)



藤久保中学校

藤久保中学校では、「総合的な学習の時間」の一環として、毎年2年生で職場体験学習を実施しています。現在の子供たちは、生活や意識も大きく変容しており、情報化社会に生き、コンピュータ等情報処理機器の扱いや情報収集能力に長けている等のよいところもありますが、社会性の不足、規範意識の低下、人間関係や連帯感の希薄化、集団や社会の一員としての自覚や責任感の低下などが指摘されています。そして、変化の激しい先行き不透明な社会を背景として、生徒の進路意識や目的意識の低下が懸念されています。それらの課題を解決するために、

①実際に仕事をしている人と接し、自分自身も体験することで、働くことの意義や目的を理解し、進んで働くこととする意欲や態度などを身に付けること。

②様々な体験・経験を積み重ねることで、自己の個性や適性を把握し自己理解を深めること。

③職場体験学習で、働いている多くの人との触れ合いや交流を通して、異世代とのコミュニケーション能力を高めるとともに、社会人としての基本的マナーや言葉遣いなどを身に付けること。

以上3点をねらいとし、例年2日間であった体験を、今年度から3日間に増やして実施しました。



〈事業所から〉

職場体験を実施するに当たって、事前学習として、新聞による職業調べ、レポートによる情報発信の方法、コンピュータによるプレゼンテーションの仕方等の学習をしました。また、生徒が自ら取り組む力を育てるために、各生徒が事業所に直接訪問し、事前の打ち合わせを行いました。当日は、緊張して体調を崩した生徒が数名いましたが、ほぼ全員が職場体験学習をしました。この3日間の体験は、これからの進路を考えていく上で、生徒一人一人の貴重な財産になったと思います。体験についての事業所からのことばや生徒の感想をいくつか紹介します。

・重度障害者にとっては、多くの方との交流から得るものは、とても貴重な体験となります。これからもぜひ交流機会を設けてくださるとありがたいです。

・大変素直で、あいさつもきちんとでき、笑顔がかわいらしい生徒さんでした。普段の学校生活とは異なり、環境も違う学習スペースでの仕事は精神的にも体力的にも大変だったと思います。本当にお疲れ様でした。

・今回の生徒さんたちは皆さん明るく積極的に体験していました。希望して当施設に来てくれたとのことでした。今後も積極的に体験したいですしと思



三芳東中学校

三芳東中学校では、職場体験学習を、2日間で行いました。実施学年は1学年で、12名の生徒が各事業所のお世話になりました。以下に、今年度の取組の様子を紹介します。

第一に、受け入れ事業所の決定と事前学習について紹介いたします。今までのつながりを中心に連絡をとり、35の事業所に受け入れていただくことができました。そして、実際に職場体験学習に行く前には、以下の取組をしました。

- ・「いろいろな職業について」調べる。
- ・身近な人(校務員・学校図書司書・学校事務・養護教諭)をゲストに招く。
- ・お世話になる事業所の皆さんへ自己紹介の手紙を書く。
- ・これらの学習を通して、職場体験学習に臨む心構えをつくることができました。



最後に、生徒の感想の一部を紹介します。

・2日間の職場体験はとても充実したものでした。初日は、消極的だった園児たちは2日目から積極的に一緒に遊んだりしてとても楽しかったです。僕が年中生のときの担任の先生もいました。ぼくは掃除が一番つらかったです。でもその分やり終えた時

の達成感もありました。接客は緊張はしたが、お客さんに「がんばって」と言われて、とてもうれしかった。

・私が一番楽しかったのはテンブラ(テナブリとはズボンの掛かっているいいハンガーを見つけること)です。理由はハンガーを探しながら服が見られるからです。一番大変だったことは床掃除です。理由は店内が広いので大変でした。

・レジでお金を扱うので失敗したら迷惑が掛かってしまうと思いましたが、「だいじょうぶだよ。」とフォローしてくれました。わたしはここで職場体験ができて本当によかったです。

生徒の感想を読むと、学校生活では味わえない仕事の面白さや大変さを体験していることがわかります。人との出会いを通して、自分の将来を考えることができています。それぞれが社会に向かおうと、扉を少し開く職場体験学習でした。



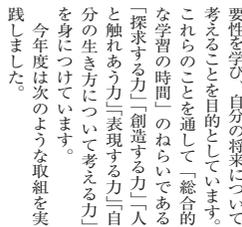
三芳中学校

本校の2年生で行っている職場体験学習は「総合的な学習の時間」の一環として取り組んでいます。三芳中学校の「総合的な学習の時間」のテーマは「郷土三芳町を愛する生徒の育成」です。2年生は「三芳町の産業をテーマに、三芳町の産業の特徴を知り、体験活動を通して自分の生き方を探ることができると、身近な三芳町の産業について興味・関心を持ち、自ら課題を見つけ解決できることを目指しています。

職場体験学習では、実際に働くことを通じて、働くことの意義や重要性を学び、自分の将来について考えることを目的としています。これらのことを通じて「総合的な学習の時間」のねらいである「探求する力」「創造する力」「人と触れあう力」「表現する力」「自分の生き方について考える力」を身に付けていきます。

今年度は次のような取組を実施しました。

・事前学習として、新聞による職業調べ、レポートによる情報発信の方法、コンピュータによるプレゼンテーションの仕方等の学習をしました。また、生徒が自ら取り組む力を育てるために、各生徒が事業所に直接訪問し、事前の打ち合わせを行いました。当日は、緊張して体調を崩した生徒が数名いましたが、ほぼ全員が職場体験学習をしました。この3日間の体験は、これからの進路を考えていく上で、生徒一人一人の貴重な財産になったと思います。体験についての事業所からのことばや生徒の感想をいくつか紹介します。



2年生では職場体験学習の実施にあたり、事前学習として、まず、職業調べや身近な大人へのインタビューをもとに「人は何のために働くのか」についての学びのための事前学習として、意義や重要性について学んでおくことにより、実際の職場での体験学習がより効果的に行われることを目的としています。

次に、事業所との打ち合わせ等がスムーズに進められるようにするため、また、事業所の方に対して失礼のない受け答えができるようにするため、ロールプレイ等を活用し、アポイントメントの取り方を学びました。実際の職場体験学習では、地元29カ所の事業所にお世話になりました。生徒たちは日常の学校生活では学ぶことのできない貴重な体験をさせていただきました。働くことの厳しさや辛さ、喜び、自分の手でお金を稼いで生きていくことの大変さ等様々なことを学んだようです。

三芳中学校では職場体験から自らの課題を設定し、課題を解決するため情報収集・整理してまとめ、総合的な学習の時間の全体発表会で発表する活動を行っています。発表会では、参観してくだされた保護者や生徒からの評価カードと、担当教師からの指導講評をもらっています。活動後の振り返りでは、それらの評価カードや指導講評、自分の発表原稿やレポート等をもとに自己評価をしました。そこからは、



生徒たちの達成感や満足感が強く感じられ、充実した職場体験学習だったことが読み取れました。最後になりましたが、各事業所の方からいただいた言葉と生徒の感想を紹介します。

〈事業所から〉

- ・ときばきとよく働いてくれました。元気よくできています。こちらが見学うべきだと感じるほどでした。
- ・最初は緊張していたようですが、2日目からは慣れたようので、指示しなくても自ら率先して仕事をしてくれました。

〈生徒の感想〉

- ・働くということはとてもたいへんだと思います。
- ・お客さんに「苦勞様」と言われてとてもうれしかったです。
- ・事業所の方がとても優しくしてくれました。ありがとうございます。

本校の職場体験学習に快くご協力してくださいました事業所の皆様、誠にありがとうございました。

図書館だより

中央図書館 ☎258-6464
火～金 10:00～19:00 土日 10:00～18:00
竹間沢分館 ☎274-1722
火～日 11:00～18:00



12月の予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※中央図書館・竹間沢分館ともに、12月27日(月)～1月4日(火)まで休館。
1月5日(水)から通常どおり開館。

- 【中央図書館】
- くりくらタイム (絵本・紙芝居・手遊び等)
第1金曜日 (保護者同伴)
11:00～11:15 6ヶ月～1歳
11:20～11:40 2・3歳～
第2火曜日 16:00～16:30 3～8歳
 - ※としよかんくらぶ (読み聞かせとブックトークの会/小学生向き)はお休みします。
 - 【竹間沢分館】
 - ※スイミーおはなし会 (絵本・紙芝居・ブックトーク)はお休みします。
 - ※くりくらタイム (絵本・紙芝居など/1～4歳)はお休みします。

- 【地域文庫のお知らせ】
(児童書の貸出、お話し会など。)
- つくし文庫・12月18日(土)、10:00～12:00
12月はお楽しみ会。
場所/上富1区第1集会所にて
 - あらた文庫・12月7日(火)・14日(水)、15:30～18:00
☆お話し会18日(土)、11:00～
場所/荒田自宅にて
(藤久保536-4 三芳東中学校近く)

【児童書】おじいちゃんとのクリスマス

リタ・テーンクワイスト文 マリット・テークワイスト絵 大久保貞子訳
富山房一九九五年十月発行
請求記号 E16

トマスは、おばあちゃんが死んで一人になったおじいちゃんとのクリスマスを過ごすために、プラハに行きます。クリスマス料理の材料に、大きな雞を買ったのに、美しく温かい絵本です。

【一般書】楽しい消しゴム版画

中井孝子 著
里文出版(二〇一二年十一月発行)
請求記号 一般736ナカ
年賀状、絵手紙、自分だけのハンコ。気軽に手作りの味を楽しみたい人から、本格的なアート作品を目指す人まで、今すぐできる消しゴム版画の入門書。作品例、図案を多数紹介しています。

図書館の本棚からクリスマス「年賀状」の本 別冊紹介中

【児童書】おじいちゃんとのクリスマス

リタ・テーンクワイスト文 マリット・テークワイスト絵 大久保貞子訳
富山房一九九五年十月発行
請求記号 E16

トマスは、おばあちゃんが死んで一人になったおじいちゃんとのクリスマスを過ごすために、プラハに行きます。クリスマス料理の材料に、大きな雞を買ったのに、美しく温かい絵本です。

★としよかんクリスマス会
＜人形劇、大型絵本、ストーリーテリング、本の紹介など＞

2009年としよかんクリスマスの様子

《2～4歳の部》12月16日(木)

- ①11:00～11:50 親子50組
- ②15:30～16:20 親子50組



《5歳～小学生の部》12月18日(土)

- ①10:00～11:30 70人
- ②13:00～14:30 70人

昨年「ねずみの嫁入り」を上演。今年は何かな？



※12月1日(水)より中央図書館にて受付。12月2日(木)より電話でも申込可。
電話受付：開館日の午前10時～午後5時 (1週間以内に入場券を受取りにきてください。) ■問い合わせ 中央図書館 ☎258-6464

健康スポーツライフ

このコーナーでは「スポーツと健康」をテーマに、様々な役立つ情報をみなさんにお届けします。
問い合わせ 総合体育館 ☎258-0311

さて、サプリメント特集最終回！今回は「プロテインパウダー」(以下、プロテインと呼称します)をご紹介します。

皆さんはプロテインというものをどのようにお考えでしょうか？

「葉みたいなもの?」「筋肉増量剤?」「副作用があるのでは?」などと少し怖いイメージや運動している人のものという考えが、頭のどこかに有るのではないのでしょうか? そのもプロテインの主な成分はタンパク質です。人間の体のほぼ半分はこのタンパク質でできていますが、日常生活を過ごしているだけで常に分解されているので、スポーツをしている人にもそうでない人にも、とても大切な栄養素の一つなのです。また、プロテインは栄養補助食品なので、薬とはまた別のものになります。

では、なぜ食品でもとれるタンパク質をプロテインで摂るのでしょうか?

1日に必要なタンパク質は、体重1kgに対して約1gとされています。例えば体重65kgの人だと約65g必要となり、サーロインステーキで換算すると500g～600g・牛乳だと約2ℓ必要となります。これだけの物を摂取すれば十分なのですが、必要のない脂肪分なども摂ってしまうので、肥満の原因にもなります。それに比べて、プロテインは素早く・簡単にタンパク質を補給できるのです。しかも、タンパク質はコラーゲンの一種なので、肌にもよく爪・髪などの美容にも効果が期待され、女性にもとてもオススメなサプリメントです。

しかし、プロテインに限らず、サプリメントの摂り過ぎは、消化器官の過剰使用に繋がり、人体に負担をかける事もあります。それぞれの身体に見合ったサプリメントの活用を心掛けましょう。

少人数制レッスン (22年度第V期)

受付開始：12月20日(月)、午前10時
直接来館、または電話にてお申し込みください。

クラス	癒しのヨガ	らくらく健康体操
講師	大塚 晴美	溝越 優貴子
日程	1/11,18,25 2/1,8,15,22, 3/1 全て火曜日(全8回)	1/6,13,20,27 2/3,10,17,24 全て木曜日(全8回)
時間	11:30～12:30	11:15～12:15
場所	多目的室	武道場
定員	15人	15人
料金	4,000円	4,000円

クラス	親子ピクス (ひよこクラス)	親子ピクス (こっこクラス)
講師	戸井 玲子	
日程	1/11,18,25, 2/1,8,15,22 3/1,8,15,22,29 全て火曜日(全12回)	11:00～12:00
時間	10:00～11:00	11:00～12:00
場所	武道場	
定員	20組	20組
料金	6,000円	6,000円
対象	1～2歳 (立つことができる子から)	2～4歳

全クラスとも継続申込の方を優先受付させていただきます。
※親子ピクスは今回より3カ月周期の実施になります。

技の文化財

第九回 熊手市

四季を彩る年中行事。それは季節の変化を掴む目安として、また労働の区切りとして三芳の生産活動の中心であった農業と関連しながら、この土地に暮らす人々の生活に華を添えてきました。こうした行事に欠かせないものとして、さまざまな飾り物があります。例えば、桃の節句の雛人形や端午の節句の鯉のぼり、盆花や福熊手・タルマなどです。このような飾り物は、それが必要とする行事の間際になって販売される事から「際物」と称し、それを作る職人は「際物師」とか「雛屋」と呼ばれていました。

町内での際物作りの歴史は江戸時代末期まで遡ることができ、藤久保と竹間沢に雛屋と呼ばれる家が数軒あって、かつては農閑期を中心に際物を製造販売していました。際物を作る家では「季節が他の家より早く来るよだ」と言います。それは、販売する時期のおよそ一カ月前には際物の製造を始めるからです。つまり、九月になると十二月の雛市に出す福熊手を作り始め、それが終わると正月用の羽子板を準備します。そして一月になると雛人形を用意し、三月には端午の節句に向けた作業が始まり、六月になると祭装束や吉野花や盆花作りが忙しくなって、それが済むと来年用の仕込みが始まるという一年の流れです。

町内で専業として店を構えたのは清水屋人形店が最初で、三代目の渡



和光市白子の熊野神社での熊手市の様子(写真提供：和光市市政情報課)

教育トピックス

9月から11月にかけて、三芳町立小中学校が、文化の薫りに彩られてきた。各校で、校内音楽会や合唱祭、文化祭、「総合的な学習の時間」発表会が開かれたのです。その中のひとつ、藤久保中学校の文化祭「藤花祭(とうかさい)」をご紹介します。今年も、10月20日(水)に行われました。

藤花祭は、「総合的な学習の時間」の中で、各学年がテーマに沿って調べ学習を行い、その成果を展示や舞台発表という形で発信し、学びあおう、そして、学び方や多様なものの考え方、主体的に取り組み態度を身につけよう」というものです。

3年生のテーマは、「平和」です。音楽、踊り、朗読、劇、展示など多様な方法で、戦争の残酷さや痛ましく、そして、戦争の残虐さや痛ましく、たくましく生きる沖縄の人たちについて、真摯に考えたことを表現しました。

舞台発表では、さすが3年生という迫真の演技に引き込まれ、思わず涙を流してしまいました。

「ヌチドゥ、タカラ(命こそ宝)」この言葉の意味を、体育館にいた全員が実感しました。

2年生のテーマは、「地域」です。

文化の祭典！生徒全員でつくる「藤花祭」

職場体験の中で働く人たちの姿から受けた感動を「ふりかき」に託して、ふりかきと「三芳町」に発表しました。ふりかきを置いて、学び、働き、人と関わって生きていくことの土台作りとなりました。

また、工場で体験や救急救命の方法など、学んできたこと、感じたことについて、実演を交えたりコント仕立てにしたりしての発表でした。楽しんでいたり感心したり、2年生の柔軟な発想に脱帽です。

1年生のテーマは、「健康」です。自分の課題について、調べ学習を進めるなかで得た知識や、感じた命や健康のかけがえのないさについて表現方法を工夫しながら発表しました。特に、力を入れたのが朗読劇と合唱による「ハッピーバースデー」命がやがや瞬間です。発表時間40分という大作ですが、その内容は、藤久保中学校のすべての生徒の心に深く刻まれました。すべての1年生に役割があり、すべての1年生がひたむきに取り組んでいました。

